

(お知らせ)

29. 8. 9  
防衛装備庁

### 新艦艇に係る調達の手当方の決定について

平成30年度以降の護衛艦(新艦艇)に係る調達の手当方については、公募により企画提案を募り、護衛艦の設計・建造能力を有すると評価した者と企画提案契約を締結し、契約に基づき提出された企画提案書について評価作業を実施してまいりましたが、本日、下記のとおり選定業者を決定しましたので、お知らせします。

#### 1. 選定業者

- (1) 主事業者：三菱重工業(株)
- (2) 下請負者：三井造船(株)

#### 2. 選定理由

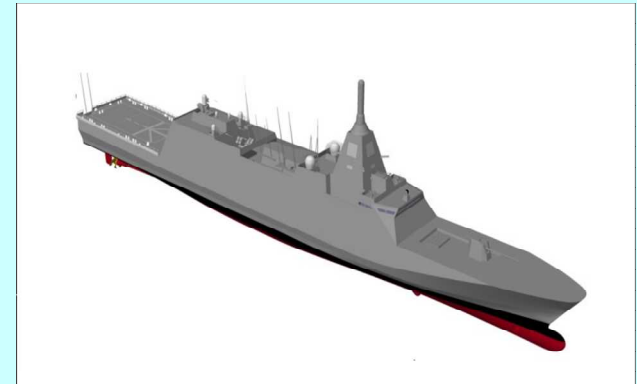
- ジャパンマリンユナイテッド(株)、三井造船(株)及び三菱重工業(株)の企画提案書には、提案を要求したすべての項目に記載があることを確認した。
- 第1段階評価においては、各社の提案が必須要求事項を満たすか否かを防衛省側で評価し、その結果、各社いずれの提案もこれを満たした。
- 第2段階評価においては、各社の提案に対し、予め提示した「設計建造能力」、「関連企業の管理能力」、「維持整備管理能力」の観点から総合的な評価を行い、これらの評価点の合計が最も高かった三菱重工業(株)を主事業者、2番目に高かった三井造船(株)を下請負者として決定した。

(参考)

- 選定業者決定までの経緯
  - 平成29年2月15日(水) 新艦艇の調達に係る企画提案の契約に参加する企業を募集(公募)
  - 4月21日(金) ジャパンマリンユナイテッド(株)及び三井造船(株)と企画提案契約を締結
  - 4月28日(金) 三菱重工業(株)と企画提案契約を締結
  - 6月30日(金) 各社から企画提案書を受領
  - 8月9日(水) 調達の手当方を決定
- 今後、所定の手続を経て、「基本設計に係る技術資料の作成」契約を締結し、平成30年度以降に建造契約を締結予定。

## ○ 新艦艇の概要

- 周辺海域の防衛や海上交通の安全確保及び国際平和協力活動等を機動的に実施し得るよう、多様な任務への対応能力の向上と船体のコンパクト化を両立させた「新たな護衛艦」(新艦艇)を導入(防衛計画の大綱)
- 新艦艇の建造に当たり、企業より技術的に優れた提案を募り、1隻当たり約500億円の建造費用を前提とした企画提案契約を締結
- (1)設計建造能力、(2)関連企業の管理能力、(3)維持整備管理能力の観点から提案を評価した結果、本日、三菱重工業(株)の提案を最も優れた提案として決定



## ○ 企画提案契約の経緯

- 2月15日 企画提案契約に係る公募
- 4月21日 ジャパン マリンユナイテッド(株)及び三井造船(株)と企画提案契約を締結
- 4月28日 三菱重工業(株)と企画提案契約を締結
- 6月30日 各社から提案書を受領

## 評価作業の概要

### ○ 段階評価の実施要領

段 階	評価要領
第1段階評価	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 提案内容が「必須要求事項」を満足するか否かについて評価</li><li>➤ 1つでも<b>評価基準を満たさないもの</b>がある提案は<b>選外</b></li></ul>
第2段階評価	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 必須要求事項をすべて満足する提案が複数ある場合に実施</li><li>➤ 提案要求事項について<b>加算方式</b>で評価</li></ul>

### ○ 各段階評価に際しての公平性、透明性の確保に係る配慮事項

- **事前に作成した評価基準書**に基づき評価を実施
- 評価結果に対しては、**多層的な審査**を実施
- **部外の第3者機関**による確認

## 企画提案書の評価結果

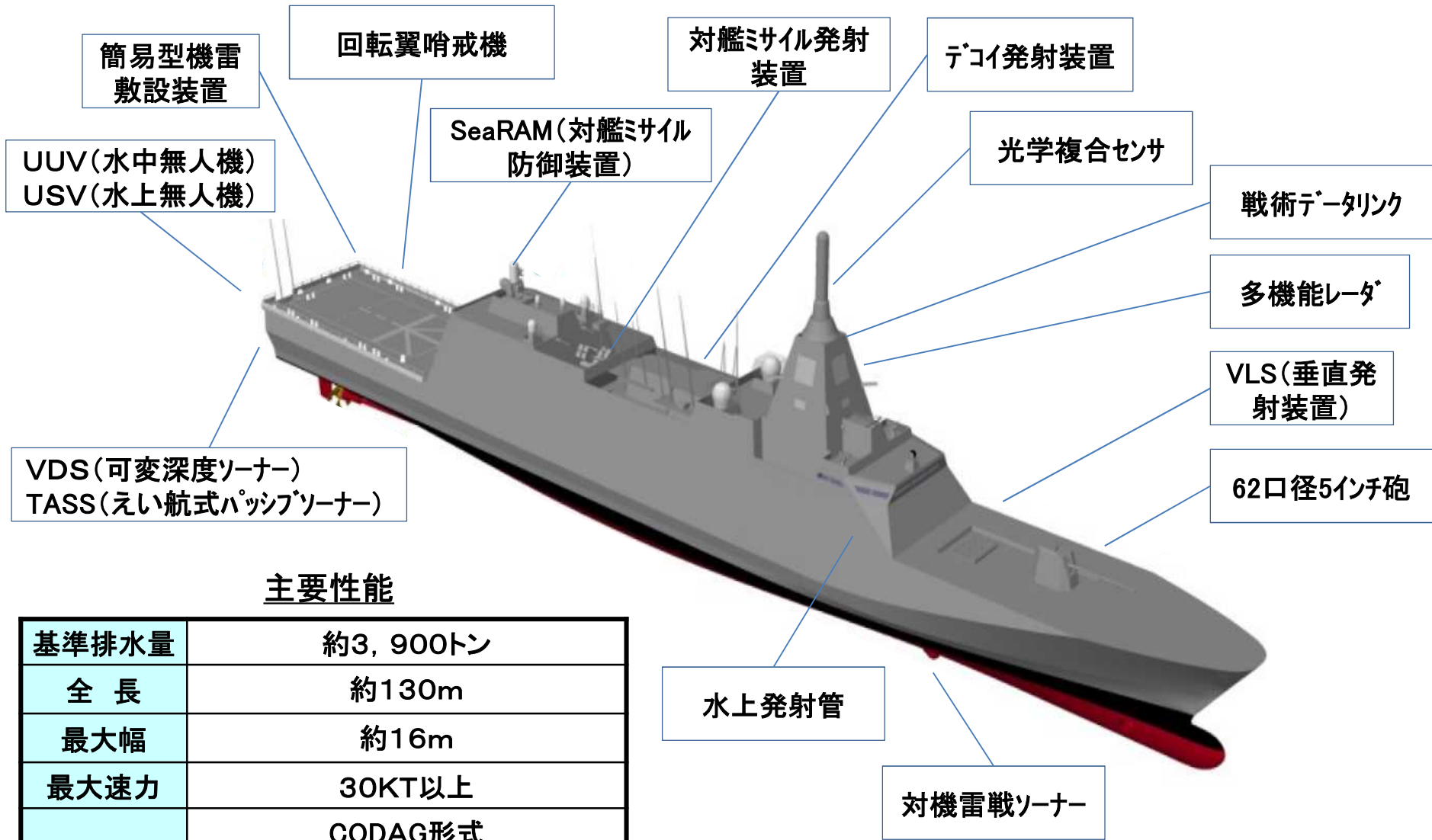
### 1. 第1段階評価の結果

3社の提案とも、全ての「必須要求事項」を満たすことを確認

### 2. 第2段階評価の結果

評価項目		高得点者	主な評価
艦艇設計・建造能力	概念設計	三菱重工業	速力性能が高く、トータルシップデザインのバランスが優れた提案
	運用要求に対する達成度	三菱重工業	運用要求に適した、最も能力の高い提案
	自動化、省人化	三菱重工業	省人化に関して幅広い検討に基づく提案
関連企業の管理能力	事業管理能力	三菱重工業	主事業者の責任がより明確
	コスト管理能力	ジャパンマリンユナイテッド	ライフサイクルコストの見積が比較的安価
	サプライチェーン管理能力	三井造船 三菱重工業	サプライチェーンに係るコスト低減対策がより明確
	品質管理能力	ジャパンマリンユナイテッド 三井造船 三菱重工業	品質管理能力は各社同等
	提案内容の成熟度	三菱重工業	他分野で実績のある新技術を効果的に適用
維持整備管理能力	可動率の維持・向上/LCC低減	三菱重工業	幅広い検討及び具体性の高い提案
	少人数での運用	三井造船 三菱重工業	具体性の高い提案

# 三菱重工業(株)提案の概要



## 主要性能

基準排水量	約3,900トン
全長	約130m
最大幅	約16m
最大速力	30KT以上
機関形式	CODAG形式 GT: Rolls-Royce社 MT30 × 1 DE: MAN社 12V28/33D STC × 2